

未来へつなぐ ずっと安心
みんな元気に“^{ススム}進”かがみいし

鏡石町第6次総合計画

【概要版】



福島県鏡石町

◇鏡石町第6次総合計画について

(1) 策定の趣旨・目的

本町は、令和3年度までを基本構想期間として「かわる、かがやく、“牧場の朝”のまち かがみいし」を将来像とする「第5次総合計画」を踏まえて、まちづくりを進めてきました。

このような中、平成27年度からの5年間を計画期間とする「第1期鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少・少子高齢化対策に向け各種施策に取り組んできましたが、今回、総合的に両計画を統合し策定することといたしました。

今後のまちづくりを進めるうえで、平成23年3月の東日本大震災や令和元年東日本台風等の災害からの復興とともに、新型コロナウイルス感染症等へ対応していくため、新しい生活様式の推進が求められること、さらに、現状からの「進化」を視野に入れ、地方創生や人口減少社会の到来、社会情勢（少子高齢化、働き方改革、社会保障、TPP等）の変化、住民ニーズの多様化、Society5.0やSDGsへの取り組みなど、昨今の急激な変化に的確に対応すべく、自主・自立した自治体として、町民主体の行政運営の中で展開していく必要があります。

以上を踏まえて、新たな10年間のまちづくりの指針となる「第6次総合計画」を策定するものです。

(2) 計画の位置づけ

①総合的・基本的・長期的な行政計画

総合計画は、町のあらゆる政策分野を網羅し、まちづくりの指針や施策を示す町の最上位計画であり、鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略については、町の最上位計画である「鏡石町第6次総合計画基本計画」に統合し、引き続き「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の実現を目指します。

②町の個別計画・施策・事業の指針となる最上位の計画

「鏡石町復興まちづくり事業計画」を継承しつつ、東日本大震災からの教訓を踏まえた強靱な地域社会を構築するための指針「鏡石町国土強靱化地域計画」、「鏡石町公共施設等総合管理計画」をはじめ、行財政改革、都市計画と都市開発、環境保全と環境衛生、産業と文化振興、健康・福祉・教育の充実、安全・安心のまちづくり、コミュニティづくりなど、各分野における計画や施策を策定・実行するうえでの基本的な指針となり、本町が取り組む全ての事業は、本計画に即して行われます。

(3) 鏡石町について

本町は、福島県の中央南部に位置し、北側、北東側及び北西側は須賀川市、南側は西白河郡矢吹町、南側の一部は岩瀬郡天栄村、南東側は阿武隈川を隔てて石川郡玉川村に接しています。東京都心からは200km程に位置し、東北縦貫自動車道（鏡石スマートインターチェンジ）や国道4号をはじめとする幹線道路とともに、JR東北本線が南北に通過し、交通の利便性が非常に高く、交通条件にも恵まれており、東境を阿武隈川、西境を釈迦堂川に挟まれた、面積31.30km²、東西7.7km、南北7.5kmの「コンパクトなまち」となっています。

唱歌である「牧場の朝（まきばのあさ）」のモデルとなった日本初の西欧式牧場「岩瀬牧場」があり、比較的起伏も少ない緑豊かな自然資源に恵まれています。

(4) 計画の特徴

鏡石町第6次総合計画は、鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に、町の個性や特徴を大切にしながら、“町民・地域行政の絆”を深め、鏡石町としてのアイデンティティを一層強固なものにしていくための道筋を示すことに留意しています。

また、町民・事業者・行政が計画実現に向けて協働で前進していくため、変化する社会情勢や町民ニーズを的確に捉え、町民や事業者にも親しみやすい計画、職員が進行管理しやすい計画とします。



(5) 計画の構成

第6次総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。

基本構想

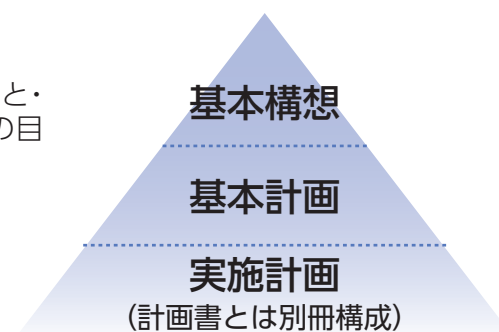
策定から10年間で展望して本町が目指すべき将来像と、それぞれを実現するために必要な施策の方向性を示します。

基本計画

基本構想を踏まえ、かつ「第2期鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合して、まちづくりの目標実現のために取り組むべき施策を示します。

実施計画

基本計画に示した施策を実現・実践するため、具体的な施策内容と事業を定めます。



(6) 計画の期間

第6次総合計画の期間は、2022年度から2031年度までの10年間とします。

また、本計画に統合するまち・ひと・しごと創生総合戦略は、前期基本計画と同期間とします。

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
第6次総合計画										
基本構想	[Bar spanning from 2022 to 2031]									
基本計画	前期基本計画 (今回策定)					後期基本計画				
実施計画	[Multiple bars for implementation]					* 3年毎の計画期間で毎年度見直 (ローリング)				
第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略	[Bar spanning from 2022 to 2031]									

<基本構想>

■基本構想の組み立て

序 論

時代潮流の認識

人口減少と少子高齢化の進行

地球温暖化の進行と環境問題の顕在化

多様なリスクの高まり

第4次産業革命による「超スマート社会」の到来

SDGs（持続可能な開発目標）の推進

ライフスタイルの多様化

新たな生活様式への対応

自主・自立の行財政運営

町の概況

○県中地域に位置し、鉄道駅を中心に交通の利便性に優れたコンパクトなまち

○比較的若い世代が多い一方人口減少と高齢化も進行

○農業経営体あたりの農業産出額が高く、工業団地も立地する

○岩瀬牧場、田んぼアートなどをはじめ、外部から一定の吸引力を持つ観光資源が存在

○持続可能な財政運営

課題認識

暮らし続けられるまちづくりへの対応

更なる活力強化や魅力づくりへの対応

安全・安心の確保への対応

暮らす人々のまちづくりへの参画強化

持続する行財政運営

行政内部

○町長ヒアリング

○職員アンケート

町民意向把握

○アンケート調査（20歳以上町民、中高生）

○町政懇談会

○まちづくり委員会

第5次総合計画後期基本計画の検証

基本構想

目標年度

2031年度

将来像

基本目標

将来フレーム

まちづくりの基本理念

安 健 進
やすらぎ、住みよい、えがおあふれる 牧場の朝のまち
健康やかに、元気あふれ、みんなでささえあう 牧場の朝のまち
未来へと、ともに創る、しんか（進化／深化）しつづける 牧場の朝のまち

未来へつなぐ ずっと安心 みんな元気に進^{ススム}かがみいし

I 子育て・健康・福祉

全ての町民が健康やかに暮らせる
まちづくり

II 教育・文化・スポーツ

未来を拓き、次代を担う人づくり

III 協働・コミュニティ

助け合いの心でつなぐ地域づくり

IV 産業・観光

にぎわいと魅力にあふれるまちづくり

V 都市環境・地域防災・生活居住

安全安心で快適な環境が整う
まちづくり

VI 行財政・広域連携

まちづくりを支える持続可能な
行政経営

人口ビジョン（2031年度） 概ね11,500人

＜前期基本計画＞

■基本目標と構成

基本目標Ⅰ 【子育て・健康・福祉】

～ 全ての町民が健やかに暮らせるまちづくり ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
I-1 子育て環境の充実	子ども・子育て支援の充実	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう
I-2 思いやりと支え合う福祉のまちづくり	保健・医療体制の充実／高齢者福祉の充実／障がい者（児）福祉の推進／地域福祉の支援・促進	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
I-3 健康長寿のまちづくり	健康維持・増進の促進	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに
I-4 持続性のある社会保障制度の構築	社会保障の充実	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう

基本目標Ⅱ 【教育・文化・スポーツ】

～ 未来を拓き、次代を担う人づくり ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
II-1 次世代を担う人づくりと生涯学習の推進	幼児教育の充実／学校教育の充実／生涯学習の推進／青少年健全育成の支援	4 質の高い教育をみんなに
II-2 地域文化の継承と保全	町の文化財の保全と発信	4 質の高い教育をみんなに
II-3 スポーツによるまちづくり	スポーツ活動の推進／スポーツ施設の維持整備	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを

基本目標Ⅲ 【協働・コミュニティ】














～ 助け合いの心でつなぐ地域づくり ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
III-1 町民の多様な活動の推進	町民と行政の協働	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
III-2 思いやる協生*のコミュニティづくり	地域コミュニティ活動の促進	10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
III-3 安心して暮らせる地域社会づくり	交通安全・防犯・消費者対策の充実	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを

*協働によって身近な生活環境を良好に保ち、末永く共に生きていくことを意図した造語

基本目標Ⅳ 【産業・観光】

～ にぎわいと魅力にあふれるまちづくり ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
Ⅳ-1 産業振興の維持・充実	農業の振興／商工業・サービス業等の振興／産業の活性化／企業立地の推進	       
Ⅳ-2 魅力資源の活用と活力みなぎるにぎわいのまちづくり	観光の振興／魅力と交流のまちづくりの推進	    

基本目標Ⅴ 【都市環境・地域防災・生活居住】

～ 安全安心で快適な環境が整うまちづくり ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
V-1 快適な生活空間の創造	市街地・住環境の整備／道路ネットワークの整備／下水道の整備	  
V-2 移住・定住のまちづくり	移住・定住の促進	 
V-3 安全で便利な交通環境の形成	公共交通網の充実	 
V-4 安全で安定した水の供給	水道水の安定的な確保	 
V-5 豊かな自然環境と共生するまちづくり	生活環境・衛生の整備／自然環境の保全と循環型社会の構築／豊かな緑のまちづくり	     
V-6 災害に強いまちづくり	防災対策の強化	   

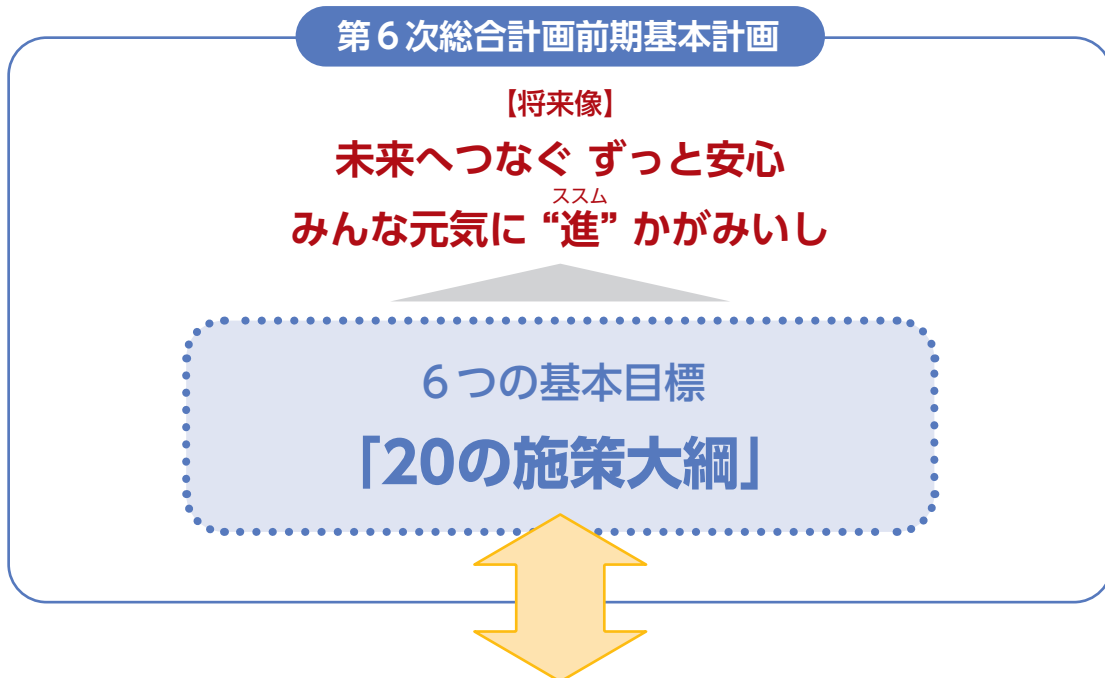
基本目標Ⅵ 【行財政・広域連携】

～ まちづくりを支える持続可能な行政経営 ～

施策の大綱（項目）	細目（節）	▶大綱にかかるSDGs
Ⅵ-1 新時代の行財政運営	健全な行財政運営／情報ネットワークの整備・充実	 
Ⅵ-2 広域連携の強化	広域行政の展開・強化	  

■持続可能な開発目標（SDGs）の推進

鏡石町第6次総合計画では、2016年12月に国が策定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」を踏まえ、「地方創生」も含めた町の新しい将来像の実現と持続可能な開発目標（SDGs 17ゴール）との関係を前期基本計画大綱ごとに示し、その推進を図っていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



鏡石町第6次総合計画【概要版】

発行 | 福島県鏡石町
 〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345
 TEL (0248)62-2111 FAX (0248)62-6553